

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

八重山林業研究会（第3回）の開催

12月23日（火）

令和7年12月23日（火）、第3回八重山林業研究会を開催し、年末の忙しい時期にも関わらず計10名の参加があった。

第3回目は八重山合同庁舎内での座学と現場（挽物事業協同組合の製材施設 & 八重山森林組合の木材乾燥装置）の視察を行い、今回は林野庁職員である祖納森林事務所の大城森林官と大原森林事務所の^{いさやま}諫山地域技術官にもお声がけをし、八重山地域の国有林野における業務内容についての講話をいただいた。

座学としては、例年通り松くい虫被害対策について未発生地域である八重山地域でのやるべきことを再確認したほか、適期外植栽の導入に向けた取り組みである令和6、7年度の現地適応化事業の観察結果についての報告も行った。

現場視察としては、今年度、県が実施している八重山地域材利用推進委託業務の説明と併せて、製材施設での作業内容及び材の乾燥状況を紹介した。

会の最後にはテリハボク材のカッティングボード作りを行い、材の切断から研磨仕上げ、レーザー彫刻といった製作作業も体験いただき、森林環境譲与税を活用した木育事業等についても提案した。

今回の林研では、各会員に製材と乾燥施設の稼働事例を見せることができたので、これを機に当該施設を市町村や事業者にも活用してもらえよう、八重山地域の材利用に向けた普及活動を続けていきたい。



(林野庁職員による業務紹介)



(製材・乾燥状況の説明)



(カッティングボード作り体験)

研究会の様子

(報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川)